

第1回 昭和館高校生ポスターコンクール入賞作品の展示



平成20年度に実施した「第1回 昭和館高校生ポスターコンクール」の入賞6作品を館内展示しました。どの作品も、個性豊かに戦中・戦後の暮らしや昭和館を紹介してくれました。来館者の皆さんも足を止めてご覧になって、大変好評でした。(平成21年9月8日～30日)

第8回 昭和館見学作文コンクール 作品募集中

小・中学生を対象とした「第8回 昭和館見学作文コンクール」の作品を募集中です。テーマは「昭和館や巡回特別企画展を見学して思ったこと、調べたことなど」です。本コンクールの最優秀作品には、厚生労働大臣賞が授与されます。皆さんの参加をお待ちしております。詳しい応募概要は、ホームページをご覧ください。



応募締め切り 平成22年 1月15日

第2回 昭和館高校生ポスターコンクール 作品募集中

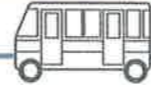
高校生の皆さんを対象とした「第2回 昭和館高校生ポスターコンクール」の作品を募集中です。今回のテーマは「あなたが学んだ昭和の暮らし」「あなたが知っている昭和の暮らし」です。入賞作品には、賞状及び副賞を用意しております。皆さんの参加をお待ちしております。詳しい応募概要は、ホームページをご覧ください。



応募締め切り 平成22年 1月15日

昭和館見学のご案内(学校団体)

- バスの駐車場 ● 食事場所 ● 説明員対応



1 団体バスでご来館の場合

- 事前にご連絡下さい。近隣の駐車場を確保いたします。

2 昼食場所の提供

- 3階研修室(使用中を除く)をご利用いただけます。
- 30分以内・他校と共用あり
 - 収容人数(約190人)
 - 予約時間より到着が前後したときは変更の場合があります。

3 説明員対応(先約優先)

- 同行説明
説明員が、1クラスに1名付き添い、常設展示室をコーナーごとに解説しながら、ご案内いたします。
所要時間は、2クラスで約1時間、3クラスで約1時間30分です。
- 事前説明
ご見学の前に、説明員から、館内の概要説明を10分程度いたします。
説明後は、自由にご見学ください。

お願い

本誌のご感想、当館へのご意見、見学された際のご感想等を下記にお寄せください。今後の編集と、館の運営の参考にさせていただきます。



昭和館

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 昭和館 総務部
TEL. 03-3222-2577 FAX. 03-3222-2575
toiawase@showakan.go.jp http://www.showakan.go.jp

学校教職員下見用
常設展示室 無料入場券

(コピー可)

期 日 年 月 日 学校名

ご芳名 他 名

お気軽に下見にご来館ください。本券を1階受付にご提示ください。

昭和館だより(第13号)

開館10周年記念特別企画展

「記された想い～手紙と日記にみる戦中・戦後～」

(平成21年7月25日～8月30日)

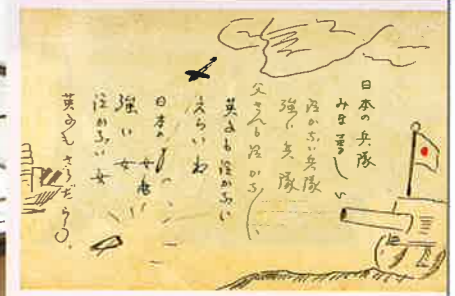


昭和館と学校をつなぐ広報誌

昭和館 だより

第13号

平成21年11月10日発行



中国で衛生兵として勤務していた野村守助さんが娘の英子さんへ送ったはがき。英子さんは当時6歳頃で、本人に分かるように書いている。
昭和12年(1937)11月

戦中・戦後に記された手紙や日記を中心とした特別企画展を開催しました。手紙(検閲があった中で戦地と内地の家族間で交わされたものなど)、日記、絵日記(配給された食料を記録したものなど)に、写真やエピソードなどを添えた約150点の資料を展示して、戦中・戦後の生活の様子や人々の想いを紹介しました。

中でも、出征を前に先を憂慮して婚約の解消を申し出た男性と、純愛を貫き通そうとする女性との手紙の交換は、多くの来館者の涙を誘っていました。

また、本展に合わせて募集した戦中・戦後の体験を描いた「絵手紙」を約160点展示し、今語る当時の想いが色鮮やかに伝わり、見る人の感動を一層深めました。

関連イベント



講演会

松島トモ子さん(女優)による「シベリアに父を訪ねて」の講演会は好評でした。(この収録映像は平成22年4月中旬頃から昭和館で視聴出来る予定です。)



語り部の会(毎夏開催)

三人の方から手紙にまつわる思い出を語っていただきました。
①戦地から自身が出したはがき
②兄(外地で戦死)からのはがき
③学童疎開したときの家族との手紙



夏休み工作教室(毎夏開催)

今回は日本絵手紙協会から講師を招き小学生のための「絵手紙教室」を開催しました。

見学された小・中学生・高校生の感想

- 絵手紙・はがきなどを通じて、戦争の怖さ、また、平和の大切さ分かりました。(小学生)
- 夏休みの宿題で祖父母と一緒に見学。戦争は、やっぱりいけないことと改めて分かりました。(中学生)
- 授業では戦線のことを教えられるけど、戦後の人たちの生活もより知る必要があったと感じました。(高校生)

常設展示室をリニューアル (平成21年7月1日オープン)



防空壕体験

児童・生徒の皆さんが体感して学習できる展示を増やしました。

- ❑ 空襲のコーナーに、実寸大の「防空壕」ジオラマを設置しました。防空壕の狭さ、B29の飛行音・爆弾の落下音・炸裂音と振動など空襲の怖さが体験できます。
- ❑ 灯火管制(平常時と警報時の違い)、警報時のサイレン(警戒警報と空襲警報の違い)を模型で体感できます。
- ❑ 展示資料を大幅に入れ替えました。
- ❑ 体験ひろば「調べてみよう」のパソコンを入れ替え、調べやすくしました。

常設展示室を見学された感想

- 親子で来ました。私の知らない昭和が沢山あって、今度はおばあちゃん(昭和10年生まれ)と一緒に来たいです。(小学生)
- 子どもでも分かる内容で、体験コーナーもあり良かった。また、学校の宿題にも役立った。(中学生)
- 教科書等でしか知らなかった事が、わかりやすく解説されておりとても勉強になった。妹や学校の後輩に戦争の苦しみを強く伝えていきたい。(高校生)
- 生徒も教える私達も、戦争を知らない今となっては、非常に貴重な体験のできる施設と思いました。(教職員)



灯火管制、警報のサイレン

開館10周年記念 昭和の名作上映会

平成21年9月19日～23日

父と娘の絆を美しく綴る小津安二郎監督の名作「晩春」、壺井栄原作の名作を木下恵介監督が映画化した芸術大作「二十四の瞳」を特別上映しました。



予告 次回特別企画展

昭和の版画展 ～館蔵名品展～ (仮称)

平成22年 3月13日～5月9日 (予定)

昭和館では、和田三造、小泉癸巳男らをはじめとする昭和を代表する版画家の作品を数多く所蔵しています。

版画を通して、昭和初期から戦前・戦中にかけての風景や人々の様子を紹介します。

また、版木などを展示して制作工程の紹介や、版画の実演も予定しています。



昭和館キャラクター ショーコちゃん

貸出キット

「証言映像」もご利用ください

戦中・戦後の体験談(オーラルヒストリー)を3枚のDVDに収めました。

- ① 空襲体験編 9番組
- ② 疎開体験編 7番組
- ③ 総集編 8番組

空襲体験編

- ・ふたつの大空襲
- ・言問橋のたもとで
- ・空襲の被災と行商生活
- ・全てを奪った空襲
- ・千葉市空襲の惨状と戦後
- ・火傷を負った空襲

疎開体験編

- ・疎開での労苦と空襲の恐怖
- ・お寺での学童疎開
- ・下館県立高等女学校での思い出
- ・疎開・空襲・占領体験を越えて
- ・父の疎開へ縁故疎開
- ・対馬丸から生還した少女

総集編

- ・我が子を奪った長岡空襲
- ・言問橋のたもとで
- ・疎開・空襲・占領体験を越えて
- ・残された妻と息子への想い
- ・女子挺身隊と戦後の労苦

- 「貸出キット」に同梱可能です。
- 「証言映像」のみの貸出しもできます。

問い合わせ先 ● 学芸部



昭和館キャラクター カスコちゃん

写真紹介

情報検索システムで「授業」と入力するとこんな写真が出てきます。

- (左) 相手を倒す訓練を体育の時間に学ぶ子どもたち
 - (中) 焼け野原となった沖縄で、校舎がなく外での授業を受ける子どもたち
 - (右) 両親が共働きで、子守りをしながら授業を受けている女の子
- 今も内戦が続く一部の国の光景が、かつての日本にも見られたのです。



武道の授業をする新屋国民学校児童 (富山県下新川郡入善町 昭和18年)



授業を再開した沖縄の学校 (沖縄県 昭和20～21年)



授業を受ける子ども (朝倉隆撮影 山梨県三富村(現・山梨市) 昭和29～30年)

図書紹介

日本SF界の大御所 “海野十三”の軍事小説

上「子どもの昭和史 昭和10年～20年」(発行:1986年)
 左下「楽水兵戦記」(発行:1944年) 中央下「軍艦旗の下に」(発行:1943年) 右下「赤道南下」(発行:1942年)



海野十三は海軍報道班員として従軍、その体験を基にした軍事小説を少年雑誌等に連載し、子どもたちも楽しみにしていました。しかし、彼には軍用飛行機についての知識が全くないということが子どもたちの間で評判となり、毎号誤りを見つけ出して楽しんだそうです。中学生の間で「海野十三の誤りを楽しむ会」が作られたというエピソードもあります。

<図書室>

<映像・音響室>